

# 第8回 UDTRY 冊子の検討（書面開催）

## （1）プログラム

□日 時：1月25日（月）～2月1日（月） 意見受付

□内 容：

- ・今年度のワークショップの結果をまとめて、A4版12ページの冊子案を参加者に送付し、意見をもらいました。

## （2）意見収集

以下のようなアンケート用紙を添付しました。

○江東区UD TRY!（冊子案）をご覧いただき、ご意見ご感想を教えてください。

今回の冊子は、初めてユニバーサルデザインを知る大人を対象としています。

※この質問シートに記載していただいても結構ですし、印刷した紙に直接書き込んでいただいて構いません。

1) 全体を一読した感想をお聞かせください

2) わかりにくい、難しいと感じたところはありますか？

3) わかりやすい、と思ったところはありますか？

4) P2をご覧下さい。

- ・このページでは「誰もが」と言ったときに、どのような人を想定しているかを例示しています。ここで載せた方以外に例示に加えた方が良いと思う方はいますか。あるいは、こんなイラストが良い、というアイデアはありますか（イラストの内容は言葉で説明していただいてかまいません）

5) P3をご覧下さい。

- ・このページでは、まちを使いやすくするためのイメージを例示しています。ここで載せた方以外に例示に加えた方が良いと思う「まちの整備」や「人の対応」のアイデアはありますか。あるいは、こんなイラストが良い、というアイデアはありますか（イラストの内容は言葉で説明していただいてかまいません）

6) P8～11をご覧下さい。

- ・ここで示したシーンは、ワークショップで出た意見から作成しています。別のシーンを取り上げた方がいいなどのご意見はありますか？

7) その他、なんでも自由にお書きください

## 書面開催資料

### UD TRY!

「UD（ユニバーサルデザイン）」という言葉をはじめて聞く人に読んでもらいたい

目的達成から考える

### ユニバーサルデザインのまちづくり

2021.1.26 楽

デザインはこれからです

イラストは仮です

### ユニバーサルデザイン（UD） まちづくりとは

#### 「誰も」ってどんな人？

たとえば

##### ●赤ちゃんから高齢者まで



##### ●さまざまな国籍や宗教



##### ●男性、女性、性的マイナリティ（LGBT 88）

※レズビアン（女性同性愛者）、「ダイ（男性的異性愛者）」、「ゲイ（女性同性愛者）」、「バイセクシュアル（両性愛者）」、「トランスジェンダー（性別変換、性別疾患）」の略字です



##### ●さまざまな特徴や能力

障害がある人ない人、  
背が高め低い人、  
地図を読むのが特に名人苦手な人



##### ●あなた

多様な人がいて、それぞれに違いがあります。

江東区では、  
「年齢・性別・国籍・能力などの違いを尊重しつつ、誰もが使い  
やすく安全で安心な環境をつくるため、住民と事業者および自治  
体が協働で進めるまちづくり」と定義しています。

#### 「使いやすく安全で安心な環境」ってどんなこと？

たとえば

##### ●まちの整備

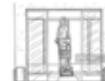


イラスト  
エレベーターの前に車いす、  
エスカレーター、階段には  
椅子の人

建物に入りやすい  
(入口の幅が広い、段差  
がない、自動ドアなど)



日本語が生手な人に  
わかりやすい案内文  
(点字など)

NRI人

##### ●人の対応



イラスト  
ベビーカーを押す人たまらず  
電車に乗っている人  
迷惑めがけている  
周りの人々

囲っているかなと感じたら  
声をかける

その人の立場になって考える  
(ジェスチャー、おさし  
手袋の使用など)



わかりやすく伝える  
(ジェスチャー、おさし  
手袋の使用など)

左の二つの事例、何が違っていたのでしょうか？  
その1では「障害」はどこにあったのでしょうか。  
Cさん自身ですか、それとも・・・

##### ●《医学モデル》と《社会モデル》

###### 《医学モデル》

左の例では、Cさんが車いすを使っていることに原因があると考えがちです。  
このように「障害」は、本人の想に要因がある、と考えることを障害の「医学モデル」と呼びます。

###### 《社会モデル》

一方で、Cさんが、お店に入れないのは、演奏劇に問題があるらしいと考えがちで  
すが、現在では「障害」は（本人の想の原因）の仕事内容によって生じ  
する考え方を主張しています。つまり、「障害」を聞くためには、（社会の）も変わらな  
ければならないのです。

###### ●平等と尊厳

ユニバーサルデザインとは、すべて人の平等をもととした考え方です。

因此の障害者権利法では、障害を理由とした差別を禁止しています。  
「○○があるから、○○だからしょうがない」という考え方では、その人の尊厳を傷  
つけられるとなのです。

##### ●目的的達成から考える

平等とは、同じものと同じ条件にしたり、特別扱いをしたりすることではありません。  
その人にあつたやり方で、やりたいことができる。そういう環境をみんなでつ  
くってもらいたいのです。

たとえば、見えないけれど風景を楽しんだり、聞こえないけれどみんなと同じく興  
きうことができます。

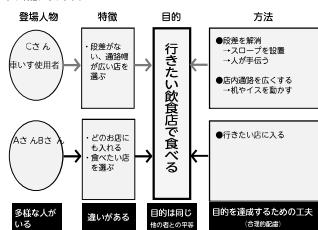
どうやって楽しむか、って？ 次の一歩から、具体的に考えてみましょう。



車いす使用者だけ、淋寂寂が少ないです。  
「車いすを使っているから仕方ない」って  
思いますが？

## &lt;目的達成&gt;から考えよう

4コママンガ「その2」を、整理して考えてみます。  
同じ目的を達成するにも、特徴が違う登場人物を観て考えることで、方法の違いが  
より理解になります。



## 障害者権利条約

・解説

## 他のものとの平等

・解説

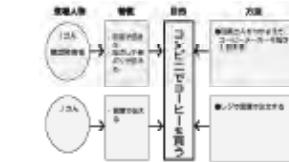
## 合理的の配慮

・解説

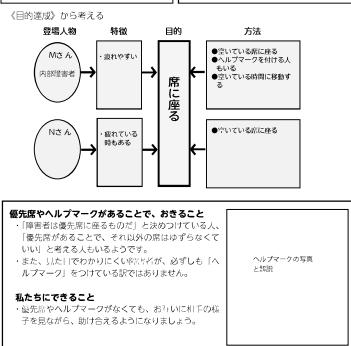
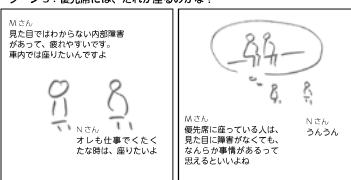
## シーン1：コンビニでコーヒーを買いたい



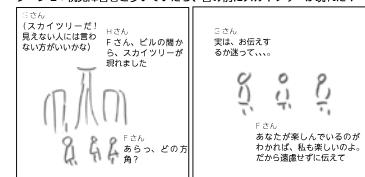
## (目的達成)から考える



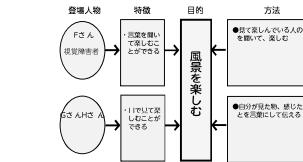
## シーン3：駅先席には、だれが座るのか？



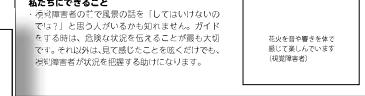
## シーン2：視覚障害者と歩いていたら、目の前にスカイツリーが現れた！



## (目的達成)から考える



【コンビニエンスなバスなのに…】  
・沿路している所におしゃれにくわった  
り、言葉の通じない外国人と思われる  
こともあります。



## 楽しむ方はそれぞれ

・音や言葉、三番を楽しむいる視覚障害者は多  
いです。楽しみ方はひとつそれぞれです。

## 私たちにできること

・【音や言葉で楽しむ】視覚障害者の話を「見てはいけないの  
で！」と思う人いるかも知れません。ガードド  
をする時は、危険な状況を伝えなことが最も大切です。それ以外は、見て感じたことをよくだけでも、  
視覚障害者が状況を把握する助けになります。

花火をやや書きをみて  
感じて楽しんでいます  
(現実津まき)

## っとあります、苦手なこと不便に感じていること

・【音や言葉で楽しむ】  
・【花火をやや書きをみて  
感じて楽しんでいます】

は、虫の鳴き声。  
でも、背が低かったり力  
がたりうると、新規に  
くわせるのが大変な人は  
いませんか?

高い人は、日本実業の輪  
跳びつけられた経験がある  
しません。

これまで取り上げたシーンも、あなたが苦手なこと不便に感じていること同  
じことなのです。

一つだけややり方だと「できる人」と「できない人」が生まれる。できないではなく他の人は「やり方が違う」人がいると気付く、違うやり方を工夫したり、時には人が手助けける。

できないこと、人とやり方が違うことがマイナスになるのではなく、いろいろな工夫ができるようになった時、私たちは少しUDに近づけたと言えます。

みんなが住みやすい江東区をめざして、一緒に考えていきましょう！

## 江東区のUDの取り組み紹介

●江東区 VSの取り組み

●小学校山形授業

●相談窓

### (3) 意見の反映

江東区 UD TRY! ユニバーサルデザインのまちづくり冊子 修正箇所

P1 (表紙)

- ・「目的達成」がいきなりあるとわかりにくい、という意見が複数ありました。
- 修正 「目的達成から考える」→「やり方が違う」を考える

P2 (導入)

- ・「誰もが」との切り出し方は唐突。『ユニバーサルデザイン (UD)』まちづくりとは（誰もが暮らしやすいまちづくり）などが必要。
- 修正 『ユニバーサルデザイン (UD)』まちづくりって何だろう  
→誰もが使いやすいまちをつくること

P2～5 (導入)

<構成>

- ・自分視点で進めて行きながら、ユニバーサルデザインだったと学ぶストーリー。登場人物は障害者に拘わらず、背が高い低い、地図を見るのが苦手、老化現象として難聴老眼、日本語苦手など。あっ私にもあてはまるという人物。障害者のために特別にやってあげている感ではなく、私も関係している感じを出す。
- ・定番としては、トイレ、横断歩道、電車・バスに乗る時、物を買う時等の設定が必要。配慮が不足するところではないか。

<だれ?>

- ・自分がその中の一員である視点がもう少しないとわからない。
- ・障害者に特化している印象。
- ・外国人という視点も含めると広がりがある。
- ・妊婦さん、子育て中の方、内部障がいのある人等も含める。
- ・「～あなたにもきっとあります～」を最後に持ってくるのではなく冒頭にもってくる。
- ・様々な障害のことが割と簡単に触れられている割にLGBT等が詳しくなっている。
- ・生活者という大きな広がりをどこかでうながせればと～おもいました。

►修正

- ・ガイドする人を登場させ、仲間を増やしながらまちツアーをする中でUDについて理解する流れを考えました。
- ・足が痛い、日本語が苦手など、障害に特化しない状況も取り上げました。
- ・また似たような状況に困っている人を「だれもって？」として列挙しました。その中には、ご意見のあった子育て中の人、妊婦さん、高齢者などを入れました。
- ・このページの最後に、「あなたにもありませんか？」の問い合わせを持ってきました。

P6 (「やり方が違う」の説明)

- ・旧p12にある「できないからあきらめるのではなく、それぞれに応じたやり方を認め、で

きるよう な社会環境を工夫し、時には人が手助けをする。できないことがマイナスになるのではなく、いろいろな工夫ができるようになった 時、私たちは少し UD に近づけたと言えます。」を最初に伝え、だからこそ、普段の些細な行動がどう違うのか改めて読み解いて考えてみようということを打ち出す。

→修正 導入後に持ってきました。

p 7～10（その他の工夫）

・登場人物の並び順は、読み手に健常者が多いと想定すると、もしかしたら逆（健常者→障害者）の方が分かりやすいように思う。

→修正 逆（健常者→障害者）にしました。

・解説が、ページによって分析的な話や、「だそうです」という表現に違和感を覚えた。誰か当事者の言葉をそのまま載せるのも、このワークショップのウリだとは思うので、当事者の声を載せるのであれば、それで揃えてもいいのかなと感じた。

→修正 一般的な話として揃えました。

・風景を楽しむ場合、視覚障害の方は、晴眼者が気づかない音・香り等様々なものを感じて風景を楽しんでいる。この表現だと晴眼者より劣るような誤解を与える。「風景を楽しむ」ではなく、「高層タワーを見る」など限定した表現の方が良い。

→修正 風景を楽しむを残して、音や風に敏感であることを追記してみました。

・内部、知的などの他障害が入って良かった。障害の簡単な説明などは必要ないか？

・知的・精神の障害がどんな障害であるのか説明したうえで「〇さんの特徴は〇〇」と例示したほうが入りやすい。

→修正 説明を入れるようにします

・旧p 11 「私たちにできること」は、もう少し具体的に書かないと読み手は何を取り入れたら良いのかわからないのではないでしょうか？

→修正 スマホを使って映像の撮影、音の録音をして他の人共有することは、日常的にやっている人も多いでしょう。

p 11（用語解説）

p 12（江東区の取り組み）

参考：UD TRY! 「やり方が違う」を考える

- ・二度の編集会議を経て、今年度の取り組みを冊子にまとめました（全12ページ）。



